

「かんほきょう」からのお知らせです

(一財) 広島県環境保健協会
環境生活センター 業務開発課

一般財団法人広島県環境保健協会が**西日本ブロック**の
「クリプトスポリジウム検査指導機関」に認定されています。

水道水質検査を実施している水道法 20 条登録検査機関が加盟する「一般財団法人全国給水衛生検査協会（正会員 189 機関）」から、クリプトスポリジウム検査員を養成指導する検査機関に認定されています。

全国の水道がより安全に供給されるようになることを心から願い、全国の検査機関を対象に検査技術の向上を支援し、優れたクリプトスポリジウム検査員を一人でも多く養成していきたいと考えています。

クリプトスポリジウムはヒトやその他の哺乳動物の消化管に寄生する原虫で、感染するとひどい下痢を起こします。この原虫は消化管の上皮細胞に侵入して増殖します。そして、オーシスト壁と呼ばれる丈夫な殻に包まれて便とともに環境中へ排出されます。この時期の原虫のことをオーシストと呼びますが、このオーシストは塩素消毒に強い耐性を示し、上水道における塩素消毒では完全に不活化することはできません。また、感染力が強く外界で数ヶ月間感染力を維持すると言われています。



クリプトスポリジウム

1994 年（平成 6 年）に神奈川県平塚市の雑居ビルで飲料水を介して数百名もの市民が感染する、わが国初の集団感染が発生し、1996 年（平成 8 年）には埼玉県入間郡越生町で住民の 7 割近くが感染するという大きな事故が発生しています。いずれも飲料水が汚染された結果です。安全な水道を維持するためには、原水の管理・監視と貯水槽の衛生保持が不可欠です。クリプトスポリジウムのほか、ジアルジアやクリプトスポリジウム指標菌の検査を定期的実施することで、水道需要者の安全を確保し、水道事業者の水質管理につながっていきます。

クリプトスポリジウム・ジアルジア、クリプトスポリジウム指標菌検査は
⇒ **高い技術力を擁した**

信頼の「かんほきょう」で

